

## 未来に希望を抱かせるキャリア教育の在り方

～バックキャスト法に基づく未来手帳づくりを通して～

新潟市立関屋小学校

池 乗 節 子（60年度）

現在の状況と様々な事が大きく変化していくことが予測される未来を生きていく子供たちにとって、今、大切にしたいキャリア教育とは、何がしたいか、どのような職業に就きたいかという「DOING」中心の職業教育ではなく、どのように生きていきたいか、どんな自分で在りたいかという「BEING」中心の生き方教育に主眼を置くことが大切であると考え。

そのためには、まず今までの自分を振り返り、自分の良さや頑張り、失敗を乗り越えた経験等を認識させた上で、未来の在りたい姿をイメージさせることが大切だと考える。次に、思い描いた未来の在りたい姿から、バックキャストという手法を用いて、今から取り組んでいくことや継続していくこと、大切にしていこうという気持ちや心掛けを自覚化させていく。

このような実践を通して、生き方について考えを深め、自己を大切にし、自身の良さを自覚し、より良い自己を育ていこうという力を養うことが、私が提案するキャリア教育である。